



川口魅力発見

vol.6

2026.10.16

市長が聴く

Discover the charm of Kawaguchi City

令和8年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 優勝

髙山紫妃（たかやましき）選手　菅七海（すがななみ）選手



左から髙山紫妃選手、菅七海選手

滋賀県で開催された「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」において、本市出身で武南高校3年の髙山紫妃選手が400m個人メドレーで2連覇、200m個人メドレーでも優勝し2種目制覇を達成。また、同校2年の菅七海選手は400m自由形で4位入賞、800m自由形で優勝しました。今回は、モスクワ／ロサンゼルスオリンピックと2大会連続で日本代表として活躍した、水泳部顧問の簗瀬（やなせ）かおり先生を交えてお話を伺いました。

市長　インターハイでの優勝、おめでとうございます。本市の選手が頑張っている姿に、多くのかたが勇気づけられました。今回のインターハイはどうでしたか。

髙山　狙っていたタイムは出せませんでしたが、2種目制覇できて安心しました。

菅　400mでは悔しい思いをしたので、「800mでは絶対に優勝するぞ！」という強い決意で臨み、自己記録を7秒更新して優勝することができ、とてもうれしいです。

市長　髙山選手は2種目制覇を果たし、菅選手は7秒も自己記録を更新して素晴らしいですね。お二人はいつから、どのようなきっかけで水泳を始めたのですか。

髙山　3歳から始めました。兄が先にスイミングスクールに通っており、その姿を見て自分も習いたいと思ったことがきっかけです。

菅　私も3歳からです。小学校のプールの授業で泳げるようにスイミングスクールに通い始めました。

市長　1日の練習量はどのくらいですか。

髙山　毎日2時間、約7kmを泳ぎます。

菅　私も同じくらいの練習量です。

市長　それぞれの得意種目を教えてください。

髙山　私は背泳ぎです。最近やっと得意だと言えるようになりました。先日開催された短水路日本選手権女子400m個人メドレーでも優勝することができました。



菅選手

菅　私はクロールです。長距離を泳ぐのが得意で、先日開催された全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会のオープンウォータースイミング（OWS）競技で女子7.5kmの部と16・17歳の部に加え、女子5kmの部でも優勝することができました。さらに最優秀選手にも選ばれました。

市長　それは素晴らしいですね。OWSは海などの自然の中で行われる長距離水泳競技ですよね。プールと海とではまったく異なる環境になると思いますが、海だと波が高かったり風が強かったりと、自然の影響を受けるため調整が難しそうですよね。

簗瀬　波風の状況によっては、急きょ当日の朝に開始時間が前倒しになることなどもあります。気温や水温によっても調整方法が変わってくるので、とても難しい競技です。

市長　水泳を辞めたいと思ったことはありますか。

髙山・菅　あります（笑）。

市長　お二人ともあるんですか（驚）。

髙山　初めて思ったのは小学生の時です。最近だと今年の6月ごろ、大会直前なのに成績が上がらず、プレッシャーを感じてしまって…。

菅　私は今年の世界ジュニア選手権の日本代表選考に落選してしまい、とても悔しくて…。

市長　かなり最近の話なのですね（驚）。辞めたいと思った時、どのように気持ちを切り替えたのですか。

髙山　その都度自分を見つめ直し、「自分にはやっぱり水泳しかない」という思いが湧き上がり、これからも水泳を続けていきたいと決心を新たにしました。



髙山選手

菅　悔しい思いを「次は絶対に負けないぞ！」というリベンジする気持ちに変え、毎回挑んでいます。

市長　水泳は相当体力を使う競技だと思いますが、食事はかなり意識していますか。

簗瀬　練習で消費されたエネルギー量に加えて、体を大きくするために必要なエネルギー量の食事を取る必要があります。今は食に関する講習会や、クラブチームによっては管理栄養士による指導など、私が現役の時に比べると充実したメニューが取り入れられています。

市長　最後に今後の目標を教えてください。

髙山　日本代表に選ばれたことがないため、選ばれるように頑張りたいです。

菅　OWSの日本選手権でワールドカップの日本代表に選ばれるように頑張りたいです。

市長　競技を続けていく中で、ステージが上がればさらにライバルが増えると思いますが、2人を応援している人が多くいるということを忘れず、好きな競泳を存分に楽しみながら競技に向き合ってください。そして、好成績を収めてくれたらうれしいです。日本だけでなく世界で活躍してくれることを期待しています。

本日はありがとうございました。



簗瀬先生